

令和4年2月1日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりにご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 静岡サレジオ高等学校の生徒に対する講演

企画実施概要： ①企画内容
フィリピンにおける貧困について、実情をお伝えするとともに、NGOの役割、活動について講演を行った。また同学校では、毎年実施していたフィリピン研修がコロナ禍で中止となっていることを受け、フィリピンの状況とともに、日本国内において学生にできることについても紹介した。
③対象者および参加予定人数
静岡サレジオ高校1年生 167名

2 出張者氏名 西坂 幸

3 依頼元／主催団体名 静岡サレジオ高等学校 沼波 岳臣先生

4 実施予定日時 令和4年1月11日 (火) 13時:20分 ~ 14時10分

5 実施場所 オンライン

6 実施報告 静岡サレジオ高等学校の生徒167名に対して、国際社会におけるNGOの役割について、フィリピンにおける活動例をあげて講演を行った。国際協力と聞いてもあまりイメージがわかなくなったり、ものを与える活動をイメージする方が多いことから、開発協力の考え方や、NGOが担うべき責任や役割について、わかりやすい例えを用いて説明した。また、写真だけでなく現地の様子がわかる動画を流すことで、身近な課題や存在として認識してもらえるよう心がけた。同校では、COVID19感染拡大以前は、フィリピンにおいて研修を行っていたことから、現地へは行けなくても国内でできる活動についても紹介した。講演後、生徒からは、「子どもたちの路上生活の深刻さを知り、海外での支援も積極的に行うべきだと思った」等の声が聞かれた。

7 写真



講演では、写真だけでなくフィリピンの路上の子どもたちの様子を写した動画を流し、同じ年代の子どもたちが、どのような生活をしているかを身近に感じてもらったようにした。



COVID-19の対策として、講演は複数の教室から繋いで行った。各教室において、生徒の皆さんはメモを取ったり、画面をしっかり見るなど、集中して話を聞いていた。

令和4年1月28日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 名古屋市立城山中学校における総合的な学習の時間での講演

企画実施概要: ①企画内容
名古屋市立城山中学校2年生の総合的な学習の時間の職業学習の時間にて、NGOでの活動や仕事内容に関する講演及び生徒からのインタビューを通じた質疑応答を行なった。

③対象者および参加予定人数
名古屋市立城山中学校 2年生 約50名(1講座約25名×2回)

2 出張者氏名 庭田美環

3 依頼元／主催団体名 名古屋市立城山中学校

4 実施予定日時 令和4年1月21日 (金) 9時20分～11時55分

5 実施場所 名古屋市立城山中学校(住所:愛知県名古屋市)

6 実施報告
当日は「キャリアチャレンジデイ」という講座のひとつとして講演をおこなった。まずは団体の設立経緯や理念、活動内容について紹介をした。写真などの視覚情報を多くすることにより、中学生にも分かり易い内容とした。その後、「わたしの仕事」として国際協力NGOの職員として、日本ではどのような業務があるかを説明。国際協力NGOというと、海外現地での仕事をイメージすることが多かったようだが、国内にいながら業務に携われること、やらなければならないことがあると学んでくれた。
当日は2セット講演をおこない、それぞれ後半には生徒が事前に準備した質問に回答する時間があつた。コロナ禍における活動や、「自分たちにできることは何か」という質問が多く寄せられた。「中学生でもできること」として、ボランティアへの参加や書籍やCD等の不要品の寄付などを例に挙げて説明。「これから自分もできることを実践したい」という声も聞かれた。

7 写真



まずは40分間の講演を実施。メモを取りながら聞く生徒、スライドの写真をしっかり見る生徒など、真剣に講演を聞いてくれていた。

(写真1)



講演の後半に、多くの生徒からの質疑に対応(各30分)。質問内容は予め用意していたが、講演内容を踏まえて、更に具体的な質問に変更するなど、生徒の意欲が感じられた。

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：明石清水高校での講演

企画実施概要：①実施内容
明石清水高校にて国際協力とSDGsについて講演を行う。

②対象者および参加人数
人と環境類型コース、2年生36名、教師4名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 兵庫県立明石清水高等学校

4 実施予定日時 令和4年1月20日（木） 10:45～12:35

5 実施場所 兵庫県立明石清水高校
(兵庫県明石市)

6 実施報告 明石清水高校の選抜コースである「人と環境類型コース」の2年生を対象にSDGsについての講義を実施した。テーマは、健康、教育、難民を扱った。
感想は以下の通りである。
・自分達よりも年が下の子が働いたり、苦しい思いをしている子が何百何千といることを心にとめて、自分の今の生活が当たり前だと思わないようにしようと思った。
・難民の認定率を上げるには私たちは何をすればいいのでしょうか？
・アフリカの難民の方の話は衝撃だった。自分たちの生活は恵まれていると思った。

7 写真

	
外務省NGO相談員制度の説明	人と環境類型コースの取り組み

(写真1)

(写真2)

以上

令和4年2月1日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 明石清水高校での講演

企画実施概要： ①実施内容
明石清水高校にて国際協力とSDGsについて講演を行った

②対象者および参加人数
人と環境類型コース、1年生36名、教師4名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 兵庫県立明石清水高等学校

4 実施予定日時 令和4年1月31日（月） 14:20～15:10

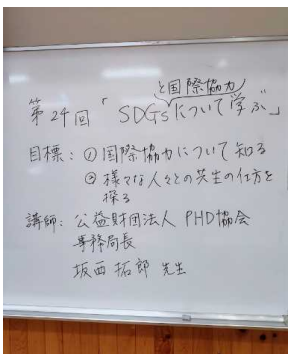
5 実施場所 兵庫県立明石清水高校
(兵庫県明石市)

6 実施報告 明石清水高校の選抜コースである「人と環境類型コース」の2年生を対象にSDGsについての講義を実施した。テーマは、健康、教育を扱い、2つのワークショップを実施した。

感想は以下の通りである。

- ・世界に目を向けていたつもりでしたが、今回の授業を受けて、全然向けられていないことがわかりました。今後、募金活動に積極的に参加していきたいと思います。
- ・国際協力について学んで、今は直接、その国に行くことが出来ないので残念だなと思いました。
- ・ミャンマーのことを聞いて、心が痛かったです。興味がさらにわきました。

7 写真

	
外務省NGO相談員制度の説明	NGO相談員制度の説明

(写真1)

(写真2)

以上

令和4年2月4日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 鬼北町立近永小学校

企画実施概要： 昨年度、NGO相談員出張サービスで実施した国際理解教育で、当時の4、5年生、今年度5、6年生となった生徒たちが国際協力・NGOに興味関心を持ったので、さらに深めていきたいとの依頼を受け、オンラインで実施した。5年生35名に対しては、「食」に関するこれまでの学習とつなげて考えられるよう、クイズを交えたり、ハンガーマップを用いて国際理解・国際協力への関心を高めた。また、6年生45名に対しては、「平和」な社会づくりに欠かせない日本と世界とのつながりについて視野を広げ、国際協力に関わるODAやNGOの重要性やSDGsについての理解・関心が高まるよう工夫し、将来、国際協力に関わる仕事への関心も高まるよう工夫した。

2 出張者氏名

竹内よし子

3 依頼元／主催団体名

鬼北町立近永小学校

4 実施日時

令和4年1月25日 (火) 10:00～15:25

5 実施場所

オンラインでの実施

6 実施報告

参加者からは以下のような感想を得られた。

- ①今日のお話を聞いて、自分ができることに取り組みたいと思った。
 - ②去年の授業の復習ができ、また新しく知ることがたくさんあって良かった。世界の国々の取組や工夫を調べてみたい。
 - ③ハンガーマップを見て、飢餓に苦しむ人々がたくさんいることが分かった。食品ロスを減らし、飢餓に苦しむ人々のためにできることを考えて、力になりたい。
- また、教員からも以下のメッセージが寄せられた。
長時間に渡ってのオンライン授業をありがとうございました。実は、近永小学校の子どもたち、初オンラインでした。きょとんとしていましたが、竹内さんのお話を聞くうちに前のめりになるほど、関心を高めていました。特に6年生は、聞いた内容を思い出したり、メモを見返したりして、家でも気になることを調べてきていました。こうやって興味・関心が広がっていて本当にうれしいです。2年間続けてお願いして良かったです。

7 写真



オンライン授業の様子(5年生)



オンライン授業の様子(6年生)

令和4年2月4日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： NPO法人向けSDGsスタッフ研修

- 企画実施概要：
- ①実施内容
佐賀県鳥栖市でNPOや市民活動の中間支援を行うNPO法人のスタッフ向けにSDGsの基礎講座を開催。
 - ②目的
依頼があったNPO法人は普段一般市民へボランティア紹介やNPOの組織運営に関する相談を行っている。相談内容にはSDGsに関する相談も含まれるがうまく対応できないことが多いという現状がある。そこでFUNNからスタッフを派遣して職員研修内でSDGsに関する基礎講座を実施。SDGs全体について解説し、日頃の業務とどう結びつけるかも考える時間を設けることで、知るだけでなく仕事の中でSDGsを実践できるきっかけとしたい。
 - ③対象者および参加人数
認定NPO法人とす市民活動ネットワーク職員 7名

2 出張者氏名 松崎浩平

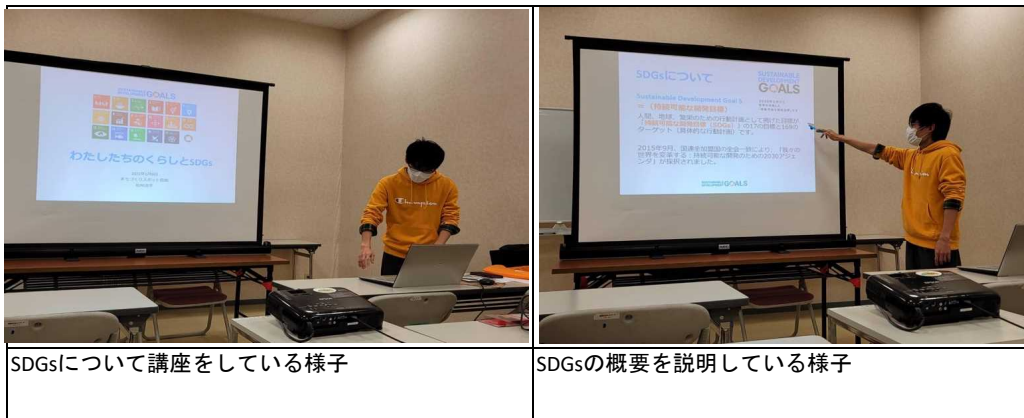
3 依頼元／主催団体名 認定NPO法人とす市民活動ネットワーク

4 実施予定日時 令和4年1月9日 (日) 10:30～12:00

5 実施場所 会場名：とす市民活動センター（住所：佐賀県鳥栖市）

当日はSDGsの成り立ちから17の目標の解説、事業者や行政がどのようにSDGsを仕事に取り入れているかを解説しました。その後参加スタッフさんと自分たちのしごとにどのようにSDGsを取り入れていくべきか？というテーマで意見交換を行いました。参加したスタッフさんからは「今まで言葉だけ知っていたので深く理解することができただけでなく、どのように生活の中で実践すればいいかもわかりとても良かった」というお声を頂きました。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上